

# 別紙1 平成29年度発達障害総合支援センターの主な取組

平成29年度利用者数 延べ約5,700人(研修受講者、県民向け公開講座等)

## 1 人材育成

早期に気づき支援できる人材を育成  
平成23年度から平成27年度で育成  
した10,549人の体制を継続

人事異動、退職者分として年間1,600人を目標に育成(H28~)

1,729人参加

( 保育所、幼稚園等933人、 市町村143人、 小学校653人)

医療・療育の専門職研修

22回 864人参加

**新** ブランコや平均台等の遊具を活用した  
実習形式の研修

52回 1,241人参加

・遊具を活用して子供が楽しみながら苦手な感覚を軽減し、  
できることを増やしていく遊び方を学ぶ実習形式の研修

・診断間もない親子をグループで支援する研修 等

対象:市町村、保育所、幼稚園、障害児通所支援事業所等

## 2 親への支援

**新** 親向け子育て支援講座の実施と普及

「子育て支援講座」  
発達障害児の保護者向けに開催

「子育て支援講座指導者育成研修」  
市町村、障害児通所支援事業所、  
保育所、幼稚園等の職員向けに開催

保護者214人参加 研修受講者288人参加

子供の「いいところ」「できるところ」を見つけて、褒めて対応するコツを  
学び楽しく子育てできるようにする講座を開催

## 3 **新** 地域支援・相談支援

研修内容が地域の支援機関で定着するよう専門職  
が訪問し助言・フォローアップ 258件

外部からの依頼により専門職が講義 26件

・裁判所職員、埼玉県警察官、保護司、民生児童委員、児童相談所職員、子育て支援者等

発達障害のある子供とその家族からの相談に対応  
740件

## 4 普及啓発

県民向け公開講座の開催 3回 524人参加